

IMAGE FORUM FESTIVAL 1988. EXPERIMENTAL FILM/VIDEO:TOKYO **EXPERIMENTAL FILM/VIDEO** イメージフォーラム・フェスティバル 1988

1988年4月28日(木)～5月10日(火) シブヤ西武シード10階＝シードホール

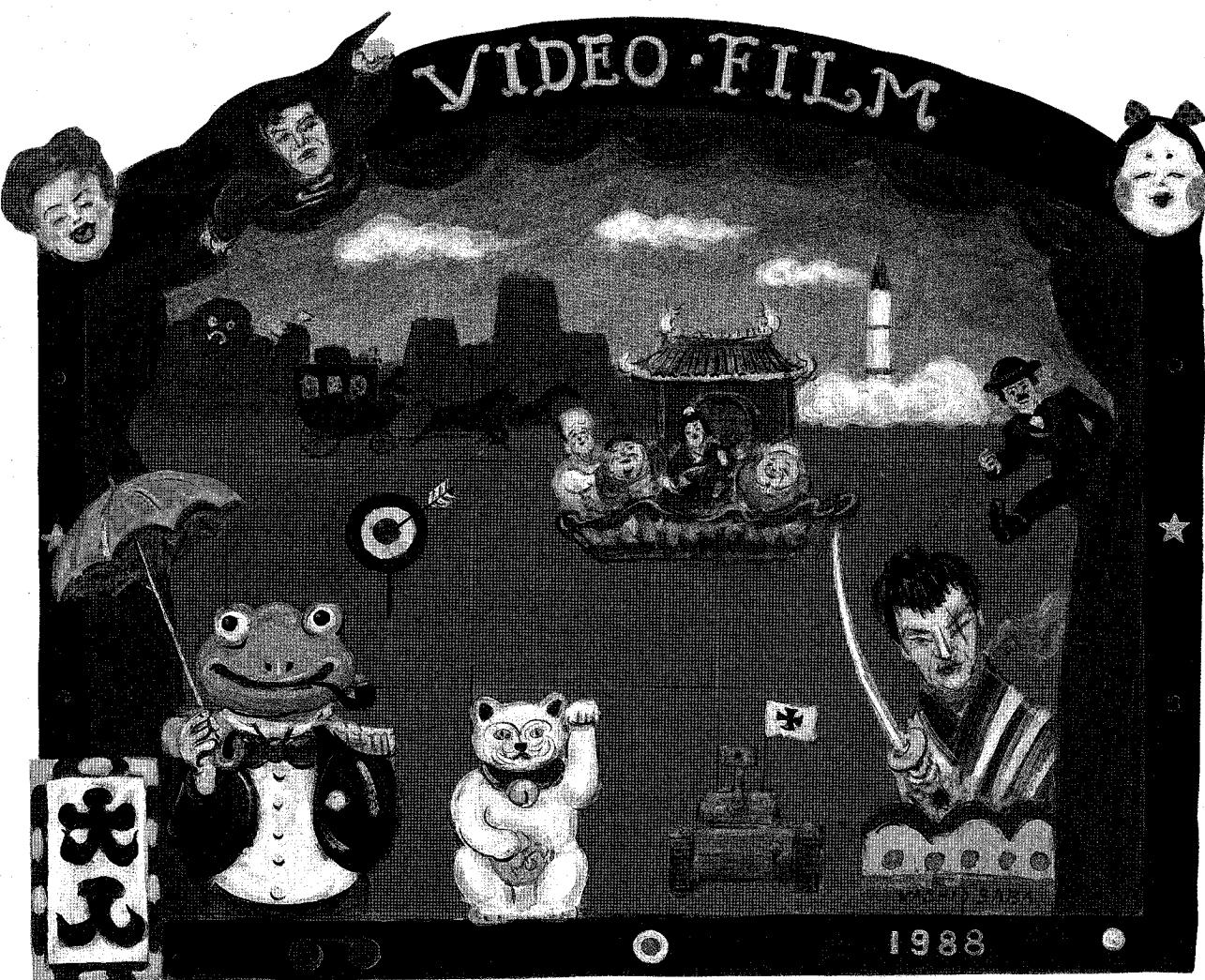
主催●イメージフォーラム 協賛●松下電器産業(株)/株西武百貨店/国際交流基金
協力●(株)エルモ社/(株)IMAGICA/(株)ダグレオ出版 上映協力●ブリティッシュ・カウンシル/東京ドイツ文化センター

[一般公募部門・日本/海外招待作品・映像パフォーマンス]

入場料=当日1,200円、前売1回券1,000円、前売4回券3,200円、フリーパス券7,000円

(前売券・フリーパス券はチケット・セゾン、チケットぴあ、都内各プレイガイドで発売中。)

お問い合わせ=03(358)1983(イメージフォーラム・フェスティバル事務局) 03(462)3795(シードホール)



SEED
SHIBUYA SEIBU

イラスト:馬場橋男

FILM

904

A ニューフィルム・日本①

●招待作品と一般公募部門大賞作品

タラッサ 乙部聖子 8ミリ 7分

とんぼ 相原信洋 16ミリ 6分

私の薬草物・MY COLLECTIONS 安藤恵平 16ミリ 8分

RING ANDROID 宮崎淳 8ミリ 40分 一般公募部門大賞作品

PRELUDE 手塚真 16ミリ 10分

MONDORIKID 目間行雄 16ミリ 10分

7月20日 萩原朔美 16ミリ 5分

(全作品1988年制作・合計86分)

B ニューフィルム・日本②

●招待作品と一般公募部門入賞作品

ルーチンの間隙 藤井晴美 1988年 16ミリ 5分

ダイレクト・アニメーション 古川タク 1988年 16ミリ 3分

婦人用カミソリの謎 米村正二 1987年 8ミリ 55分 一般公募部門入賞作品

悪魔の回路図 伊藤高志 1988年 16ミリ 7分

無題六 能登勝 1986年 16ミリ 10分 一般公募部門入賞作品

映画のフレーム 奥山順市 1988年 16ミリ 5分

(合計85分)

C ニューフィルム・日本③

●招待作品と一般公募部門入賞作品

バトルタウン 中西義久 1987年 8ミリ 10分 一般公募部門入賞作品

食卓の小さな扉 原田一平 1988年 16ミリ 6分

兆 中村雅信 1988年 16ミリ 15分

私小説Ⅱ・FILM かわなかのぶひろ 1988年 16ミリ 8分

獣人 永山昌克 1987年 8ミリ 13分 一般公募部門入賞作品

MELTDOWN 加藤剣 1988年 16ミリ 9分

オブリック振り 鈴木志郎康 1988年 16ミリ 15分

(合計76分)

D ニューフィルム・日本④

●招待作品と一般公募部門入賞作品

CHOP 井川基 1988年 8ミリ 9.5分 一般公募部門入賞作品

SLANT OR SLUMBER 小倉千夏 1987年 16ミリ 8分

x 森下明彦 1988年 16ミリ 9分

SUN MOON IKIF 1988年 16ミリ 2.5分

海の唄 黒坂圭太 1988年 16ミリ 35分

水晶 山田勇男 1988年 16ミリ 10分

一本勝負の姫姫・400フィート11分間 金井勝 1988年 16ミリ 11分 (合計85分)

E ブラザーズ・クエイ作品集(イギリス)

●今世紀初頭の幻想小説作家B.シュルツの原作をもとにした話題作『ストリート・オブ・クロコダイル』他、クエイ兄弟の怪奇映画集

レオス・ヤナーチェク 1983年 26分

ヤン・スヴァンクマイヤーの部屋 1984年 14分

ギルガメッシュ/小さなほうき 1985年 11分

ストリート・オブ・クロコダイル 1986年 21分

(合計72分)

F ニューフィルム・イギリス

●ロンドン・ニューウェーブ・アンソロジー。D.ジャーマンの仲間C.W.エヴァンスら、第一線で活躍する実験映画作家たち

動物天国 ニック=ゴードン・スミス 1984年 8分

モス・ファイト ヴァンダ・カーター 1985年 8分

泳ぐ人 マイケル・マジエー 1987年 7分

LOOKING INTO AND OUT OF・冬の日記 ニック・コリンズ 1985年 9分

かくれんぼ モアヴァ・スウェニー 1987年 16分

ジャックが建てた家 ジョージ・サクソン 1986年 8分

トーピー・ソール ポウリン・ナヘン 1986年 5分

(合計91分)

G 『南極から赤道まで』(西ドイツ/イタリア)

●記録映画のバイオニア、ルカ・コメリオ(伊)のフーテージ再発見。第1次大戦、1910年頃の南極探険ニュース映画をもとに構成

イエルバン・ジャニキアン+アンジェラ・リッチ・ルッチ 1986年 96分

H ニューフィルム・アメリカ

●NYアンドーラークラウンド映画復活!と話題を巻いた過去4回の「NYフィルム・フェスティバル・ダウンタウン」からの代表作

ソウル・シティ M.ヘンリー・ジョーンズ 1980年 2分

嵐にはダイノザウルスも転ぶ ベネロープ・ウィルリ 1986年 9分

危険がいっぱい アビゲイル・チャイルド 1985~87年 5分

MAYHEM アビゲイル・チャイルド 1987年 20分

BLOND VOODOO エラ・トロイアーノ 1987~88年 15分

PARADE ジョイ・アールバム 4分

(合計65分)

映像の最先端は、いま20世紀の再確認。フィルムは19世紀の産物か?テレビは人々の心を豊かにしただろうか?コンピューター映像は全ての価値観を変えたのか?



無題六(能登勝)

ストリート・オブ・クロコダイル(ブラザーズ・クエイ)



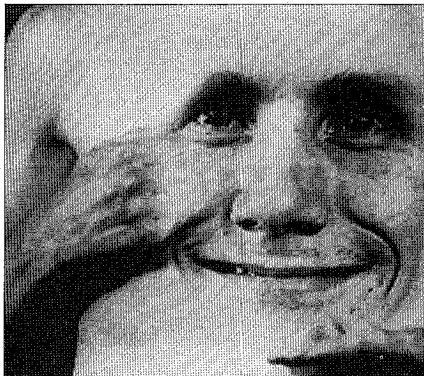
かくれんぼ(モアヴァ・スウェニー)



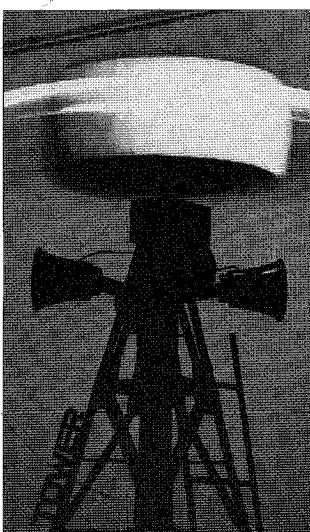
90年先の未来を読むこと、90年遡って時を点検すること。それは同じくらい遠い想像の旅へとかりたてる。

VIDEO

天光と怪物たち(ジュディス・ゴーダード)



プロパガンダ(島野義孝)



プロパガンダ(島野義孝)



アート・オブ・メモリー(ウッディ・ヴァスルカ)

I ニュービデオ・日本

- 招待作品と一般公募部門大賞・入賞作品
PSYRADIOHQK 大橋勝+坂野伊和男 1988年 8分 一般公募部門入賞作品
FÜSÖ・風騒 伊奈新祐 1988年 6.5分
おいしい靴下 大須賀理恵 1987年 9分 一般公募部門入賞作品
HK スティーブン・ブラック 1987年 14分 一般公募部門入賞作品
IT'S SHOW TIME 川村毅 1988年 30分
SUMI 長谷川章 1987年 7分 一般公募部門入賞作品
市役所はどこですか 香川まさひと 1986年 8分 一般公募部門入賞作品
キレツ 鈴木博己 1987年 3分 一般公募部門大賞作品
プロパガンダ 島野義孝 1988年 5分
眠り・メイクアップ 上林栄樹 1988年 20分

(合計110.5分)

J ジョージ・クッチャー作品集(アメリカ)

- 伝説の8ミリ映画作家初のビデオ作品。エイズに冒された友人の病床にビデオ・カメラを持って訪ね、死を迎えるこの主人公に捧げる
ビデオ・アルバム5:木曜日の人々 1987年 65分
内なる砂漠 1987年 20分

(合計85分)

K スティナ&ウッディ・ヴァスルカ、ジョン・プライス作品集(アメリカ)

- コンピューター・ビデオの先駆者W.ヴァスルカの3年がかりの大作『アート・オブ・メモリー』が完成。『記憶のスペクタクル』を演出
ガヤ・シンセシス ジョーン・プライス 1987年 11分
ヴォイス・ウインドウ スティナ・ヴァスルカ 1986年 8分
リリス スティナ・ヴァスルカ 1987年 8分
アート・オブ・メモリー ウッディ・ヴァスルカ 1987年 36分

(合計63分)

L ツビニー・リップキンスキー作品集(アメリカ)

- ビデオ・クリップ制作の人気者として、米国で初めて高品位画像を手がけた映像作家として今NYで最もポピュラーな存在

- タンゴ 1980年 8分
メディア 1980年 3分
もう止まらない 1976年 10分
ニュー・ブック 1975年 7分
SUPA 8分

- 昨日 1984年
外交官の秘かな愉しみ 1984年
CLOSE TO THE EDIT—アート・オブ・ノイズm.v. 1984年 4分
DIANE D.—チャック・マンジョーネm.v. 1984年 4分
HELL IN PARADISE—オノ・ヨーコm.v. 1986年 4分
ALL THE THINGS SHE SAID—シンプル・マイズm.v. 1986年 5分
THE ORIGINAL WRAPPER—ルー・リードm.v. 1986年 4分
OPPORTUNITIES—ペット・ショップ・ボーイズm.v. 1986年 4分
CANDY—カメオm.v. 1986年 4分
KEEP YOUR EYE ON ME—ハーブ・アルバートm.v. 1987年 5分
IMAGINE—ジョン・レノンm.v. 1987年 3分
LET'S WORK—ミック・ジャガーm.v. 1987年 4分

階段 1987年 25分 (合計109分) *m.v.=ミュージック・ビデオ

M INFERMENTALⅧ・東京編集版第5巻「電波植民考」

- ベルリンで創刊した国際ビデオカセット・マガジン「インフェルメンタル」が初めて東京で編集。テーマは「テレビ王国の憂愁」
スノウ サイモン・フォン・ウォルケンシュタイン(オーストラリア) 1986年 13分
マシン・ソング チェル・ホワイト(アメリカ) 1987年 3.5分
imp 伊藤弘 1987年 6分
他

(合計60分)

N ニュービデオ・西ドイツ

- ヨーロッパの新しいビデオ世代を代表する作品として注目される。ベルリンの2つの大学のビデオ講座制作。豊富な発想に注目
妖精のお話 ハンノ・ベーテ 1986年 20分
2つのドイツの断層 ハムトムート・ヤーン 1986年 19分
鉄の接吻 マティアス・グラッセル 1985年 12分
ツアイトランスクライマー・時をグラフィックに置き換える(9作品収録) 1986年 45分

(合計96分)

O ニュービデオ・イギリス

- 音と映像のオーバーラップ、電子的合成によるモンタージュ・ポートレイト—ロンドン・ビデオ・アート提供のビデオ・プレイランド
演奏 ケイト・エルウス 1986年 3分
階段を降りる鱈 スティーブ・ハウリ 1987年 5分
デモクラシー ジェズ・ウェルシュ 1987年 4.5分
天光と怪物たち ジュディス・ゴーダード 1985年 6分
ぜひ言いたいこと モナ・ヘイタウン 1983年 5分
エレクトリカル・ディベロブメント クライブ・ギルマン 1986年 10分
パートI、II、III セラ・ファーノウ 1986年 50分
ITALO SUEVO コリン・スコット 1987年 15分

(合計98.5分)

PERFORMANCE

日本から、世界から、選ばれた102の最新映像
が訴えかけるのは、一人一人の心の奥底に潜む
「時」の具現化である。

P『クラスターZII』(アメリカ)

●アクション・ペインターとしても知られるD.イリクが来日。数10個のバルーンに映像を
投映する拡張映像パフォーマンス。

ドラガン・イリク 1988年(初演) 50分



パフォーマンス/ ドラガン・イリク

TIME TABLE

1988年4月28日(木)～5月10日(火)

	12:00	2:30	5:00	7:30	
4/28 (木)	F ニューフィルム イギリス 8作品(91分)	A ニューフィルム 日本① 7作品(86分)	E ブラザーズ・クエイ作品集 イギリス 4作品(72分)	H ニューフィルム アメリカ 65分)	FILM DAY
4/29 (金・祝日)					
4/30 (土)					
5/1 (日)					
5/2 (月)	N ニュービデオ 西ドイツ 4作品(96分)	J G・クッチャー作品集 アメリカ 2作品(85分)	K S & Wヴァスルカ作品集 アメリカ 4作品(63分)	I ニュービデオ 日本 10作品(110分)	VIDEO DAY
5/3 (火・祝日)	I ニュービデオ 日本 10作品(110分)	O ニュービデオ イギリス 8作品(99分)	M INFERMENTAL 東京編集版 (60分)	L Z・リブチンスキー作品集 アメリカ 18作品(109分)	
5/4 (水・祝日)	K S & Wヴァスルカ作品集 アメリカ 4作品(63分)	L Z・リブチンスキー作品集 アメリカ 18作品(109分)	N ニュービデオ 西ドイツ 4作品(96分)	J G・クッチャー作品集 アメリカ 2作品(85分)	
5/5 (木・祝日)	M INFERMENTAL 東京編集版 (60分)	K S & Wヴァスルカ作品集 アメリカ 4作品(63分)	I ニュービデオ 日本 10作品(110分)	N ニュービデオ 西ドイツ 4作品(96分)	
5/6 (金)	L Z・リブチンスキー作品集 アメリカ 18作品(109分)	J G・クッチャー作品集 アメリカ 2作品(85分)	O ニュービデオ イギリス 8作品(99分)	M INFERMENTAL 東京編集版 (60分)	
5/7 (土)	A ニューフィルム 日本① 7作品(86分)	C ニューフィルム 日本③ 7作品(76分)		P 映像パフォーマンス 『クラスターZII』 D・イリク (アメリカ)	FILM DAY
5/8 (日)	D ニューフィルム 日本④ 7作品(85分)	H ニューフィルム アメリカ 65分)		P 映像パフォーマンス 『クラスターZII』 D・イリク (アメリカ)	
5/9 (月)	B ニューフィルム 日本② 6作品(85分)	F ニューフィルム イギリス 8作品(91分)	G 『南極から赤道まで』 Y・ジャニキアン/A・リッチ・ルッチ 西ドイツ+イタリア (96分)	C ニューフィルム 日本③ 7作品(76分)	FILM DAY
5/10 (火)					

入場料=当日1,200円、前売1回券1,000円、前売4回券3,200円、フリーパス券7,000円

(前売券・フリーパス券はチケット・セゾン、チケットぴあ、都内各プレイガイドで発売中!)

お問い合わせ=03(358)1983(イメージフォーラム・フェスティバル事務局) 03(462)3795(シードホール)